

心は何をして捨合ふも福は志しぬ仏の御恩
出されてそころ^にをさねなれを中ね成て
立ぬん心地も志のいもあられ都に生し時
ハ我こそハ人よりも実花^{ヤカ}聲^{ヤカ}めしをと思ふ
もも先泪くあれて望^{ソコ}し時を候しそを
あひくも何れにまの名を問ふやと思ふ
くも時よ自内^{ミツラ}變結くも女童一人出来ぬ
中ね成るを誰といふやんぬるハ何なる
人そと同ふしを思ハ朝日の長者成とやて
薩摩ふしを思も成をさん童りぬさやけ

さとやとと慈へて内よ入ぬまの長者は都
と告をそをりれを長老悟りて急を中ね成
を内よ誰し入なり誰い偶作し来をり
後束^{トビ}さるし^{トビ}き^{トビ}やありん年米仏祇に
祈りて何もして都の言人よも見をんとて
中ねく一人の姫を中ね成し歸合なりて長
老更婦月日の光をまよはるる娘し最愛
まも事斜なると被差中に出見尊の兄の物
を来ひのひて海まに入あひしに嫁しなり
園遠歌^{トビ}きしんも角やとを思ハくも形て